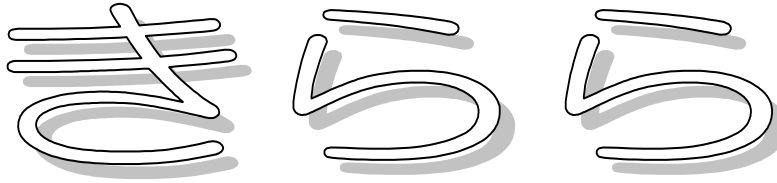




葦山南小学校
学校だより

学校教育目標：ともに高め合う きららの子



令和7年 4月 発行 第1号

「地域に信頼
され、地域
とともにある
学校」を
めざして

「笑顔とあいさつでつながる きららの子」をめざして

校長 土屋 貴俊

9日に入学式、着任式・1学期始業式を行い、令和7年度の学校生活が始まりました。本年度は新1年生46名を迎え、児童数292名・教職員数38名（非常勤職員等を含む）の体制でスタートいたしました。教職員については、4月24日（木）に実施されるPTA総会で紹介させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

学校の主体は子供たちです。子供たちの思いが形になり、一人一人が自分のよさを自覚し、互いに認め合える学校であること。誰もが安心して自分の夢に向かって挑戦できる学校、そしてなによりも子供たちが毎日笑顔で楽しく登校できる学校をめざします。私たち教職員は、これらの実現のために子供たちの思いに寄り添い、常に課題意識を持ち子供たちと共に考え行動していきます。地域・保護者の皆様には、ご支援ご協力をお願いします。

子供たちに始業式で以下の三つのことをお願いしました。

① あいさつを通して友達や先生、地域の人とつながってほしいということ

学校生活も社会生活も人との関わり、支え合いで成り立っています。他者を認める第一歩は、あいさつです。毎日登下校を見守ってくださっている地域や保護者の方々に笑顔であいさつをすることで自分を応援してくれる人が増え、困ったときに助けてくれたり、支えてくれたりするようになります。

② 早寝早起き朝ご飯外遊びに心がけ、挑戦する子になってほしいということ

日々の「心の健康観察」の様子からも睡眠時間を十分にとれている児童、朝食をしっかり食べてきている児童は、気分よく笑顔で登校できることが分かっています。また、自分の目標達成に向けてがんばろうとする意欲が見られています。

③ 自分や友達のよいところを見つけて、自信をもってほしいということ

人は必ず得意なことや苦手なことをもっています。苦手なところばかりを気にしていると、安心した生活ができません。よいところやできることを認め合い、苦手なことは補い合うことで互いに高めていけるようになります。

以上のことを踏まえ、学校教育目標の「ともに高め合う きららの子」の実現に向けて、学校・家庭・地域が協働し、子供たちが安心して学習に運動に取り組める環境づくりをしていきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。